

令和7年度

# 札幌市立北陽中学校 体育文化振興会総会資料



# 2024年度 北陽中学校 部活動報告

## (1) 常設の部活動

部活動名	月	大会名（地区・全市等を明記）	結果（個人競技は生徒氏名も明記）
野球	5	ダイワスポーツ杯北区春季大会	予選リーグ VS 新琴似 0-2 負け VS あいの里東 1-8 負け
	5	全日本少年軟式野球大会札幌支部予選	1回戦 VS TTBC C 4-6 負け
	6	中体連6ブロック	1回戦 VS あやめ野 4-3 勝ち 2回戦 VS 新琴似 0-1 負け
	7	ワタナベスポーツ杯北区新人戦大会	予選リーグ VS 新琴似北・光陽 1-6 勝ち VS 屯田中央 4-11 負け
	8	全日本春季軟式野球大会札幌支部予選	1回戦 VS 明園・元町 0-7 負け
	9	イレブン杯	予選リーグ VS 月寒 5-9 負け VS 西岡 4-8 負け
	9	中体連新人戦大会	2回戦 VS 発寒 4-5 負け
サッカー	4~10	札幌地区カブスリーグ Bグループ 2部Aリーグ	6勝2敗1分け 第3位
	6	中体連サッカー選手権大会 グループ予選	1回戦 v s 太平 1-2 負
	8	①ワタナベ杯 ②ダイワスーパーカップ	①1回戦 V.S. 光陽 1-1 (PK 3-1) 勝 2回戦 V.S. 篠路・上篠路 3-1 勝 準決勝 V.S. 屯田中央 2-1 勝 決勝 V.S. 太平 5-3 優勝 ②決勝 V.S. 東栄 4-1 優勝
	10	中体連サッカー新人戦	1回戦 v s 手稲 3-0 勝 2回戦 v s 手稲東 0-2 負
	12	①チャレンジカップ ②ガケチャレンジカップ	①予選リーグ U-13の部 2勝1敗 2位 U-14の部 3勝 1位 決勝トーナメント U-13の部 1回戦 V.S. 稲穂 2-0 勝 2回戦 V.S. 米里 0-3 負 U-14の部 1回戦 V.S. 稲穂 4-0 勝 2回戦 V.S. 太平 3-0 勝 ②U-13 3勝1敗 2位 U-14 3勝1分 1位 →総合優勝

陸上競技	5	春季札幌中学陸上競技大会	松川 鈴音 男子共通 400m 7位 56.85 伊藤 紘一郎 男子共通 3000m 4位 9:54.73 相蘇 壮琉 男子共通棒高跳 1位 2.90 木村 宗太 男子共通円盤投 6位 19.29 藤田 大志 男共通四種競技 7位 1724 男子1・2年 4x100mR 木村-小野-山田-早岡 7位 50.87
	6	全日本中学校通信陸上競技大会 北海道札幌大会	松川 鈴音 男子 400m 3位 56.59 三上 隼 男子 800m 6位 2.10.28 岩崎 みやび 女子砲丸投 6位 8.83
	6	札幌市中体連陸上競技大会	三上 隼 男子 800m 5位 2.07.61 伊藤 紘一郎 男子 3000m 5位 9.53.02 相蘇 壮琉 男子棒高跳 4位 2.7
	7	北海道中学校陸上競技大会	加藤 諒 男子 200m 予選 24.24 土井 唯慈 男子 400m 予選 57.50 松川 鈴音 男子 400m 予選 54.81 三上 隼 男子 800m 予選 2.07.52 伊藤 紘一郎 男子 3000m 決勝 9.47.28 藤田 大志 男子 110mH 予選 16.92 男子四種競技 決勝 1659 男子 400mR 相蘇-松川-加藤-近藤 予選 DNF 片平 実花 女子 100mH 予選 16.95 女子 400mR 片平-杉本-黒沼-岩崎 予選 54.09
	7	札幌中学校陸上競技大会	藤田 大志 男子中学共通 110mH 6位 17.45 相蘇壮琉 男子中学共通棒高跳 4位 2.7 男子 4x100mR 小野-早岡-加藤-松川 5位 47.50 岩崎 みやび 女子中学B砲丸投 6位 8.45
	8	札幌市中体連陸上競技大会新人 戦	加藤 諒 男子 200m 5位 24.04 松川 鈴音 男子 400m 2位 56.22 榊 葉太 男子 1500m 7位 4.36.21 男子 4x100mR 小野-早岡-加藤-松川 5位 47.73 岩崎 みやび 女子砲丸投 4位 8.49
	9	北海道中学校新人陸上競技大会	加藤 諒 男子2年 100m 予選 12.20 男子 200m TR 決勝 24.15 松川 鈴音 男子 400m 5位 55.52 榊 葉太 男子 1500m 決勝 4.43.07 男子 3000m 決勝 10.20.47 男子 400mR 小野-早岡-加藤-松川 TR 決勝 47.47

陸上競技			岩崎 みやび 女子砲丸投 決勝 8.36
	10	北海道中学校駅伝大会	男子 7位 藤田-伊藤紘-川村-伊藤大-榎-三上 1°04'10"
男子 バドミントン	6	札幌地区中学校バドミントン春季選手権大会 北区南部地区予選	団体戦 2位 3年 渋谷 麻陽・中山 大誠 ダブルス 2位
	7	札幌地区中学校バドミントン春季選手権大会 全市大会	3年 渋谷 麻陽・中山 大誠 ベスト8
	9	札幌市中学校体育連盟バドミントン新人戦大会 北区南部地区予選	団体戦 優勝 2年 柏原 蓮・1年 下田 優希 ダブルス 優勝
	10	札幌市中学校体育連盟バドミントン新人戦大会 北区南部地区予選	団体戦 初戦敗退 2年 柏原 蓮・1年 下田 優希 ダブルス 初戦敗退
	2	藤井スポーツ杯 経験別シングルス大会 北区南部地区	男子A 2年 柏原 蓮 1位 男子A 2年 米田 宥斗 2位 男子S 1年 下田 優希 1位
		藤井スポーツ杯 経験別シングルス大会 全市大会	男子A 2年 柏原 蓮 男子A 2年 米田 宥斗 男子S 1年 下田 優希
女子 バドミントン	6	札幌地区中学校バドミントン春季選手権大会 北区南部地区予選	1年 館 奏美 シングルス 3位 1年 竹部 野衣 シングルス 3位
	7	札幌地区中学校バドミントン春季選手権大会 全市大会	1年 館 奏美 シングルス 2回戦敗退 1年 竹部 野衣 シングルス 1回戦敗退
	9	札幌市中学校体育連盟バドミントン新人戦大会 北区南部地区予選	団体戦 3位 2年 井上 葵葉・日並 和奏 ダブルス 3位 1年 竹部 野衣 シングルス 1位 1年 館 奏美 シングルス 2位
	10	札幌市中学校体育連盟バドミントン選手権大会 全市大会	1年 竹部 野衣 シングルス 初戦敗退 1年 館 奏美 シングルス 初戦敗退
	2	藤井スポーツ杯 経験別シングルス大会 北区南部地区	女子S 竹部 野衣 2位 女子A 遠藤 月奈 2位
	2	藤井スポーツ杯 経験別シングルス大会 全市大会	女子S 竹部 野衣 女子A 遠藤 月奈
	男子 バスケットボール	4	春季大会
7		中体連	全市トーナメント2回戦 vs. あやめ野 56-72 敗北
9		U15選手権大会	Jブロック予選リーグ vs. 中央 33-58 敗北 vs. NORD BREZZS U15 30-110 敗北

男子 バスケット ボール	10	新人戦	全市トーナメント 1回戦 vs. 前田 80-61 勝利 2回戦 vs. 宮の森 53-46 勝利 3回戦 vs. 新琴似北 58-64 敗北
	11	1年生大会	Dブロックリーグ戦 vs. 星置・稲穂 38-67 敗北 vs. 北栄・栄南 34-67 敗北 *平岡緑とあやめ野はオープン参加で不戦勝 vs. 平岡緑 48-56 (20-0 不戦勝) vs. あやめ野 57-70 (20-0 不戦勝)
	12 2	北島杯	予選リーグ vs. 篠路西 78-47 勝利 vs. 稲積 82-46 勝利 1位トーナメント準決勝 vs. 福井野中 59-74 敗北 3位決定戦 vs. 篠路中学校 55-41 勝利
	2	石原杯	Dブロック予選リーグ vs. あいの里東 69-63 勝利 vs. 新琴似 76-62 勝利 vs. 札苗 77-35 勝利 vs. 厚別 78-26 勝利 決勝トーナメント 1回戦 vs. 新琴似北 58-37 勝利 準々決勝 vs. 栄町 40-59 敗北
女子 バスケット ボール	4	春季大会	予選トーナメント vs 真駒内中 63-14 勝利 vs 宮の丘中 54-30 勝利 vs 陵北中 46-41 勝利 決勝トーナメント vs 澄川中 76-53 敗北 全市ベスト16
	7	中体連	vs 東月寒中 101-19 敗北
	9	U15選手権大会	vs 真栄中 54-27 勝利 vs 八軒中 55-36 勝利 vs 北栄中 68-18 勝利 vs 手稲東中 36-62 敗北 予選ブロック2位 敗退
	10	新人戦	vs 屯田中央中 47-30 敗北
	11	1年生大会	vs 藻岩中 54-31 勝利 vs 新川西中 46-20 勝利 vs 屯田北中 42-46 敗北 vs 光陽中 38-27 勝利 予選ブロック2位 敗退

卓球	6月	中体連北ブロック大会	男子団体戦 準優勝 女子団体戦 準優勝
	7月	中体連全市大会	男子団体戦 準優勝 → 全道大会出場 女子団体戦 3位 女子個人戦 6位 宮下 → 全道大会出場
	7月	札幌卓球選手権大会カデットの部	14歳以下女子シングルス 3位 五十嵐
	8月	全道中体連	男子団体戦 第二ステージ 敗退 女子個人戦 1回戦敗退 宮下
	9月	北海道卓球選手権大会カデットの部	14歳以下女子シングルス ベスト16 宮下
	9月	中体連新人戦	女子団体戦 優勝
	11月	札幌中学選抜卓球大会	女子団体戦 優勝
	12月	北海道中学選抜卓球大会	女子団体戦 決勝トーナメント1回戦敗退
	1月	1年生大会	男子個人戦 3位 久野
吹奏楽	7月	札幌市北区中学校音楽会	カナモトホール
	8月	吹奏楽コンクール札幌地区大会	中学校A編成の部 銀賞
	10月	第13回定期演奏会	かでのアスビックホール
	11月	アートステージスクール音楽祭	札幌コンサートホールKitara
	12月	クリスマス・コンサート	本校体育館
	1月	管楽器個人コンテスト	2年中川碧真 金賞
	1月	アンサンブルコンテスト	クラリネット三重奏 金賞
	1月	札幌市民吹奏楽	札幌市教育文化会館大ホール
	3月	中吹研スクールバンド演奏会	カナモトホール
合唱	6月	第77回コーラスフェスティバル	
	7月	札幌市北区中学校音楽会	
	8月	第91回NHK全国学校音楽コンクール 道央地区大会	中学校の部Ⅱ 金賞
	9月	第91回NHK全国学校音楽コンクール 北海道大会	中学校の部 奨励賞
	9月	第75回北海道合唱コンクール	中学校部門 混声合唱の部 銀賞
	11月	中文連音楽会	
	12月	クリスマスコンサート	
	2月	第32回札幌ヴォーカルアンサンブルコンテスト	高校生以下Bの部 金賞
	3月	定期演奏会	

美術	4月	生徒会スローガン横断幕作成	
	5月	円山動物園スケッチ会	
	5月	さっぽろ歯と口の健康週間 絵画・ポスターコンクール	特選 1年 佐々木大和 佳作 3年 藤崎 日菜
	7月	ファッションデザイン画コンクール	入選 3年 藤崎 日菜
	7月	ポスターコンテスト 【薬物乱用防止部門】	最優秀賞 1年 高村 萌々子 入選 1年 清水 いろ葉
	7月	北区 明るい選挙啓発ポスター展	委員長賞 2年 栗原 楓 銀賞 3年 近藤 詞皇 銅賞 3年 直井 未来 銅賞 1年 畔柳 楓花
	7月	近代美術館 鳥獣戯画展 鑑賞会	
	8月	札幌芸術の森 百鬼夜行展 鑑賞会	
	11月	中文連展 作品出展	

(2) 引率のみの部活動

部活動名	月	大会名(地区・全市等を明記)	結果(個人競技は生徒氏名も明記)
柔道	7月6日	中体連選手権大会	男子 66kg級 2年 高瀬泰誠 優勝
	7日		
	7月29日～ 31日	中体連全道大会	男子 66kg級 2年 高瀬泰誠 優勝
	8月23日	中体連全国大会	男子 66kg級 2年 高瀬泰誠 2回戦敗退
	10月5日 6日	中体連新人戦	男子 66kg級 2年 高瀬泰誠 優勝
水泳	7月	第45回 北海道中学校水泳大会	3年 成地 理紗 女子 50m 自由形 予選 31.71 女子 100m 自由形 予選 1:07.62
硬式 テニス	7月	第20回 北海道中学校テニス選手権大会	3年 小田桐 桜 トーナメント(1勝) 2回戦敗退
剣道	7月	第46回札幌市中学校 体育連盟剣道選手権大会	男子個人 1年 早津充陽 3回戦敗退 1年 長屋秀紀 1回戦敗退 2年 清水正成 2回戦敗退 2年 芦田純仁 3回戦敗退 女子個人

		3年 佐々木彩花 2回戦敗退 男子団体 予選リーグ 厚別中戦勝ち 屯田中央中戦負け 1勝1敗 予選リーグ敗退
11月	第48回札幌市中学校 体育連盟剣道新人戦大 会	男子個人 1年 長屋秀紀 2回戦敗退 2年 清水正成 1回戦敗退 2年 芦田純仁 1回戦敗退  男子団体 北都中戦 負け 初戦敗退



## 2025年度 北陽中学校 部活動年間活動計画

- ① 下記の費用とは別に、部活動に入部の際は体育文化振興会費として1人当たり5,000円を納入いただきます。詳細は、部活動結成ミーティングで、指導者から生徒へ説明します。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応のため、大会やコンクールなどの延期や中止の可能性があります。
- ③ 何かご質問などがありましたら、部活顧問までお問い合わせください。

	主な出場大会（時期）	活動日	費用の見込み
女子バスケットボール部	中体連（7月） 札幌北区南部交流大会（8月） 中体連新人戦（10月） 1年生大会（11月） ※他に、小規模のものもあります。	平日： 4日 土日： どちらか休み	・部費（大会参加費、選手登録費等） 1・2年生：5000円 3年生：3000円 ※部活動費徴収日に、一緒に徴収します。 ・ユニフォーム：11,260円 ・練習着等（希望制）：約1万円 ・ウィンドブレーカー（希望制）：13,800円 ※昨年度の費用です。変動する可能性もあります。 ・シューズ：約3,000円～2万円 ※大会等で公共交通機関を使用する場合はその都度交通費がかかります。
男子バスケットボール部	中体連（6、7月） 中体連新人戦（10月） 1年生大会（11月） ※他に、小規模のものもあります。	平日： 2～4日 土日： どちらか1日	・選手登録費：2,000円 ※部活動徴収日に一緒に徴収します。 ・チームTシャツ：2,200円 ・ロンT：2,800円 ・練習用ハーフパンツ（希望制）：4,000円 ・ビブス（赤・紺・白）：3,000～4,000円 ・ウィンドブレーカー（希望制）：14,000円 ※昨年度の費用です。変動する可能性もあります。 ・シューズ：3,000～20,000円程度 ・その他：交通費等
男子バドミントン部 女子バドミントン部	【4月】スガワラ杯春季大会 保護者説明会 【5月】協会登録 【6～7月】 札幌市中体連（6月中旬） 【10月】 札幌市中体連新人戦（10月中旬） 【12月】スポーツ館杯団体戦大会 【1月】札幌北部地区団体戦大会 【2月】藤井スポーツ杯経験別シングルス大会 【3月】ワタナベ杯学年別個人戦大会	平日は、 4日活動1日休み 土日は、基本的にど ちらか休み 大会前は活動が増 えることがあります。 夏休み、冬休みは1 週間程度休み	部費：月1,000円×12ヶ月 ＝年間12,000円 主にシャトル代として使 います。（3年生は6か月分6,000円としていま す。） ※部活動費徴収日に、6か月分6,000円を一 緒に徴収します。1年生は、他にシューズ、ラ ケット、練習用Tシャツを購入するのに12,000 円ほどかかります。ラケットバッグは休日の練 習のときだけ。 1年生は試合用ユニフォームを8月くらいに 購入します。シャツとパンツで10,000円くら いです。

サッカー部	<p>【4月～10月】地区カブスリーグ(5月上旬開幕予定)</p> <p>【6月～7月】中体連(6月下旬)</p> <p>【8月】ワタナベ杯</p> <p>【10月】中体連新人戦(10月上旬)</p> <p>【1月】フットサルローカル大会</p> <p>【2月】北区フットサル大会</p>	<p>平日：3日～4日</p> <p>土日：</p> <p>どちらか休み</p> <p>※大会時は土日部活動の場合もあり</p>	<p>今年度の部費：年間1,500円(協会登録費)</p> <p>試合用パンツ・ソックス代：9,000円程度</p> <p>※大会の参加数が増えた場合、部費として追加で徴収する場合があります。</p>
美術部	<p>・各種コンクールへの参加(全員対象)</p> <p>・共同制作</p> <p>・芸術鑑賞会</p> <p>・中文連展への出展</p> <p>・月ごとの制作計画に沿って作品を制作します。</p> <p>〈制作内容の例〉</p> <p>鉛筆デッサン、水彩画、ポスター制作、陶芸、イラスト絵画、羊毛フェルト</p>	<p>平日：3日(火・水・木)</p> <p>完全下校日は活動なし</p> <p>土：9:30～12:00</p> <p>日祝日：休み</p> <p>夏、冬休み：10日間程</p> <p>※学校祭前は、活動日が増えることがあります。</p>	<p>・部費(絵画、工芸材料費等)：年間3,000円</p> <p>※部活動費徴収日に、一緒に徴収します。</p> <p>美術館見学時の入館料や交通費などは実費負担となります。</p> <p>※基本は全ての活動日に参加してください。</p> <p>特に、土曜の活動へ必ず参加できることが入部の条件です(土曜は人物クロッキー+体カづくりの取り組みあり)</p>
合唱部	<p>【5月】合唱講習会</p> <p>【6月】コーラスフェスティバル</p> <p>【7月】夏季合唱講習会 北区音楽会</p> <p>【8月】NHK全国学校音楽コンクール</p> <p>【9月】全日本合唱コンクール</p> <p>【11月】中文連</p> <p>【12月】クリスマスコンサート</p> <p>【2月】ヴォーカルアンサンブルコンテスト</p> <p>【3月】定期演奏会</p> <p>※ その他に地域からの演奏依頼が来ることがあります。</p> <p>※ 今年度は予定が変更になる可能性があります。</p>	<p>平日：4日</p> <p>土日：どちらかは休み(基本は日曜日がお休み。活動時間は3時間程度)</p>	<p>・部費：5,000円</p> <p>※部活動費徴収日に一緒に徴収します。</p> <p>ピアニストやボイストレーニングの先生への謝礼などに使います。お呼びする回数によっては年度途中に追加徴収する可能性があります。</p> <p>・遠征費</p> <p>今年度は全日本合唱コンクールが北見で行われますので、その際のバス代が必要になります。部員数によって負担額が変わります。</p> <p>・保護者会費</p> <p>例年、応援のお守りやホール練習で遅くなるときのご飯代などに使われています。</p> <p>※例年4,000～5,000円</p> <p>保護者会で話します。</p>

吹奏楽部	<p>【4月】入学式演奏</p> <p>【5月】スプリング・コンサート</p> <p>【7月】北区音楽祭</p> <p>【8月】吹奏楽コンクール 札幌地区大会</p> <p>【9月】吹奏楽コンクール 北海道大会</p> <p>【10月】定期演奏会</p> <p>【12月】クリスマス・コンサート</p> <p>【1月】アンサンブルコンテスト 札幌地区大会 市民吹奏楽祭</p> <p>【2月】アンサンブルコンテスト 北海道大会</p> <p>【3月】中吹研演奏会 卒業証書授与式演奏</p>	<p>平日：4日</p> <p>土日：どちらかは 休み。(基本、日曜 日がお休みです。)</p>	<p>部費：一ヶ月3,000円</p> <p>5月の保護者会総会で決定し、一括か分割(前期後期)で集めます。</p> <p>※楽器の個人持ち(購入予定)の場合は、顧問にお知らせください。</p>
陸上競技部	<p>札幌記録会(5月4・5日)</p> <p>春季陸上(5月24日・25日)</p> <p>小・中学校記録会(6月8日)</p> <p>中体連(6月21日・22日)</p> <p>通信陸上(6月28日・29日)</p> <p>中体連全道(7月22日～24日)</p> <p>札中権(7月30日・31日)</p> <p>新人戦(8月21日・22日)</p> <p>全道新人(9月20日・21日)</p> <p>全道駅伝(10月18日)</p> <p>室内陸上(3月15日)</p> <p>※予定なので、増減の可能性がある と思います。この他にも記録会や練習 会に参加することがあります。また厚 別や円山の競技場での練習もあり ます。</p> <p>※全員が全ての大会に参加するわ けではありません。</p>	<p>週4～5日を基本。</p> <p>※原則、平日1日 と土・日どちらか が休み。</p> <p>※学校行事・大会 日程等で変更があ ります。</p> <p>※夏休み・冬休み 期間は長期休みを とります。</p> <p>※明確にシーズン がある競技なの で、夏季の活動は やや多く、冬季の 活動はやや少なく なります。</p>	<p>部費：2,000円</p> <p>選手登録費：1,450円(前年度の金額 部費 と一緒に集めます)</p> <p>ユニフォーム(希望者のみ)：8,100円程度</p> <p>部活Tシャツ(希望者のみ)：1000円程度</p> <p>大会費：記録会1種目600円程度から。大会 1種目1000円程度から。</p> <p>交通費：大会や練習会参加への地下鉄代・貸 切バス代。</p> <p>遠征費：全道大会などの参加には宿泊費や交 通費がかかります(札幌市や体文振より額は 大会によって変わりますが、最大75%程度 の補助が出ます)</p> <p>その他、必要なもの：ランニングシューズ(体 育で使用できるものならOK)</p> <p>便利なもの：スパイク、ストップウォッチ機 能付き腕時計、ウインドブレーカー、ベンチ コートなど。</p>

<p>野球部</p>	<p>北区春季大会（5月） 全日本少年軟式野球大会（5・6月） 中体連（6月20日） 全日本少年軟式野球新人戦大会（8月） 北区新人戦大会（8月） 中体連新人戦（9月） イレブン杯（9～10月）</p>	<p>平日：4日 原則：平日1日・土日どちらか1日の週2日休み。 土日大会の場合は平日2日休みになります。</p>	<p>部費：4,000円 ※部活動費徴収日に、一緒に徴収します。 練習用チームTシャツ：1,800円～ ユニフォーム・帽子：12,150円～ グローブ：約5,000～30,000円 スパイク：約4,000～10,000円 計.60,000円程度 ※大会等で公共交通機関を使用する場合は交通費がかかります。</p>
<p>卓球部</p>	<p>地区中体連(6/14,21) 全市中体連(7/5-6) 札幌選手権大会(7/21,26-27) *全道中体連(8/1-3)【恵庭】 *北海道選手権大会(9/30-31)【釧路】 中体連新人戦大会(9/13,14,21) 中学選抜予選会(11/22-23) *全道中学選抜(12/27-28)【札幌】 中学1年生大会(1/8-9) 北区新人戦(2月) ※全ての大会に全員が参加するわけではありません。 *は勝ち上がらないと出られません</p>	<p>平日：4日 土日：どちらか1日 (基本的には土曜日が部活で日曜日が休みです。)</p>	<p>部費：年間6,000円 ユニフォーム上下：約10,000円 ラケット：約10,000円 シューズ：約5,000円 卓球協会登録料：800円 ゼッケン印刷：550円 ※チームのレベルによっては石狩・胆振の中学校や高校・大学との練習試合もあります。</p>

## 令和7年度

### 体育文化振興会運営方針(案)

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われます。

スポーツや文化等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育成する場として、全職員で活動の支援をします。

#### 1. 活動の目的及び活動(規約第2章より抜粋)

- ・学校との緊密な連携のもとに、部活動の振興を図り、生徒の心身の発達と健全な社会人の育成を目指すことを目的とする。
- ・本会は、そのために部活動の振興に関する活動及び指導、その他本会の目的達成に必要な活動を行う。

#### 2. 役員(規約第4章)

##### ① 総会にて選出

会長	1名	保護者(PTA会長)
副会長	2名	保護者(PTA副会長)・教頭
監査	2名	保護者(PTA監査)

##### ② 会長より委嘱

事務局長	1名	教諭(事務局担当教諭)
事務局員	若干名	保護者・教諭
監査	2名	保護者

#### 3. 今年度設立する部

- ①男子バスケットボール部
- ②女子バスケットボール部
- ③男子バドミントン部
- ④女子バドミントン部
- ⑤軟式野球部
- ⑥サッカー部
- ⑦陸上競技部
- ⑧合唱部
- ⑨吹奏楽部
- ⑩美術部
- ⑪卓球部

## 札幌市立北陽中学校体育文化振興会 規約

### 第1章 名 称

第1条 本会は、札幌市立北陽中学校体育文化振興会と称し、事務局を同校内に置く。

### 第2章 目的及び活動

第2条 本会は、学校と緊密な連携のもとに、部活動の振興を図り、生徒の心身の発達と健全な社会人の育成を目指すことを目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

1. 生徒の部活動（体育系・文化系）の振興に関する活動
2. 生徒の部活動（体育系・文化系）の指導
3. その他、本会の目的達成に必要な活動

### 第3章 会 員

第4条 本会の会員は、次の通りとする。

1. 体育系・文化系のいずれかの部に所属する生徒の保護者
2. 本会の目的に賛同する者

### 第4章 役 員

第5条 本会には、次の役員をおく。任期は1年とする。但し、再任は妨げない。

1. 会長 1名（保護者）
2. 副会長 2名（保護者・教頭）
3. 事務局長 1名（教師）
4. 事務局員 若干名（保護者・教師）
5. 監査 2名（保護者）

第6条 会長、副会長、監査は総会において選出し、事務局長、事務局員は、校長の同意を得て、会長が委嘱する。

第7条 役員に欠員が生じた場合は、役員会で補充する。

第8条 役員の仕事は、次の通りとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、代理を務める。
3. 事務局長は、本会と学校との連絡・調整、及び会務の一切を処理する。
4. 事務局員は、本会の会計事務、その他の実務を行う。
5. 監査は、本会の会計監査を行う。

### 第5章 会 議

第9条 本会の会議は、総会、役員会、部活動顧問会とする。

第10条 総会の構成及び任務は、次の通りとする。

1. 全会員をもって構成され、本会の最高決議機関とする。
2. 定期総会と臨時総会があり、会長が招集する。
3. 決算・予算、活動報告、運営方針、役員を選出、規約の改正、その他必要な事項を審議決定する。

第11条 役員会の構成及び任務は、次の通りとする。

1. 監査を除く役員で構成し、必要に応じ開催する。
2. 総会に諮る議案の作成・審議をおこなう。

第12条 部活動顧問会は、部活動の指導者で構成し、具体的運営のあり方や連絡・調整を行う。

### 第6章 会 計

第13条 本会には、一般会計と特別会計をおく。

第14条 一般会計は、会費・振興会費などによってまかなう。

第15条 特別会計は、全道・全国大会に出場する経費を支出するもので、振興会費、寄付金、その他の収入でまかなう。

第16条 会費、部費、振興会費の額は、毎年総会で決定する。

第17条 本会の会計は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

### 第7章 規約の改正

第18条 本会の規約を改正する場合は、総会において出席者の過半数の賛成を必要とする。

### 第8章 付 則

第19条 本会は、その目的達成のため必要な場合、役員会で詳細を定めることができる。

第20条 本規約は、平成7年4月25日より施行する。

一部改定 平成9年4月19日より施行する。

一部改定 令和6年4月19日より施行する。

## 札幌市立北陽中学校体育文化振興会 細則

- 第1条 この細則は、規約第19条によって定める。
- 第2条 この会の設置、廃止、募集は次の通りとする。
1. 部員の募集要項は事務局が用意し、保護者の承諾書などを添える。
  2. 部の成立は、10名以上の入部希望者と1名以上の指導者を持つことを原則とする。
  3. 部は、指導者の申出のないものは設けない。
  4. 部の廃止は、指導者が欠け、補助指導者・新指導者が得られない場合に行う。
  5. 年度途中の退部は、所定の退部届けを提出し許可を受ける。  
ただし、納入した振興会費・部費は返却しない。
  6. 年度内の転部は、1年次に1度だけ認める。
- 第3条 この会が行う部活動の要領は、おおよそ次の通りとする。
1. 各部の指導者は、年間活動計画を事務局に報告する。
  2. 指導者は、学校行事に支障のない限り、対外試合・校外活動に参加できる。
  3. 指導者のつかない部活動は行えない。
  4. 部の活動は、決められた曜日以外でも、他の部への影響のない限り行える。
  5. 学級・常任委員会・生徒会などの活動は、部活動に優先する。
  6. 個人で使用する用具は、個人負担にすることを原則とする。
- 第4条 事務局の任務内容は次の通りとする。
1. 事務局長は、全体の統括のできる立場の者をあてる。
  2. 年度はじめの部員募集の公示と諸届け用紙の作成。
  3. 各部への予算試案の作成。
  4. 振興会予算案の作成。
  5. 新設部、廃止部の公示。
  6. 入部者・退部者の氏名受付。
  7. 緊急事由による部活動の中止の公示。
  8. 決算報告の事務。
  9. 指導費・引率旅費・日当などの計上と支出。
  10. 会計事務。
  11. 大会参加費の支出。
- 第5条 指導者の任務はおおよそ次の通りとする。
1. 入部希望者の受付と部員の名簿作成。
  2. 部内の役員を選出の指導と代表生徒の決定。
  3. 活動計画の指示、終了後の整理整頓、清掃状況の確認。
  4. 部員の出欠状況、健康上の管理。
  5. 練習時間の変更要請、保護者への連絡。
  6. 部費の徴収希望額、部予算の編成、部費の徴収・管理。
  7. 対外試合、校外活動の計画と引率。
  8. 事故者の適切な処置と必要手続きの要請。
  9. 部活動顧問会、総会への参加。
- 第6条 活動中に事故が発生した場合の処置は、次の通りとする。
1. 事故が発生した場合、素人判断に流れないで、医師の判断を求め、細心の処置になるようにする。
  2. 事故発生後は、補助指導者がいない場合は、活動を中止して帰宅させる。また、事故経過状況などを、保護者・事務局長・管理職に連絡する。
  3. 軽度の負傷は別として、医師の診断を受けたような場合、負傷の状況、医師の診断・処置などについて、保護者・事務局長・管理職に連絡する。
- 第7条 部員が行う諸届けの形式は次の通りとする。
- 入部願と退部願は別紙による。

## 札幌市立北陽中学校体育文化振興会 内規（令和7年度）

この内規は、体育文化振興会から全国・全道大会へ出場する生徒および引率者に対する遠征費の補助支給について規定するものである。

### 1. 補助の対象者

- ①振興会費を納入し、本校のいずれかの部に所属している生徒
- ②本校に部がないが、振興会費を納入している生徒
- ③大会引率教師

### 2. 補助の対象とする大会

ア：札幌市開催を除く以下の大会とする。

- ①中体連全国・全道大会。
- ②文化系の主要な全国・全道コンクール
- ③その他の大会～新人戦からつながる全道大会。ただし各部1大会のみ。
- ④その他役員会で別途協議した大会・コンクール

イ：泊を伴わない近隣での大会については、現地近くのJR駅までの運賃（片道）分のみ補助。

### 3. 遠征費補助の内訳

【生徒（一人あたり）】 ※昼食費は補助なし

	大会	費目	補助	備考
①	中体連全国大会	交通費	なし	札幌市より全額支給あり。
		現地交通費	実費	補助上限は1日2,000円（※要領収書） *貸切バスを借りた場合は1/4を補助。 上限は補助上限と同額。
	宿泊費	1/4	補助上限は実費の1/4 札幌市および中体連より半額支給あり。 泊数は市・中体連の支給日数と同じ。 （不足分は個人負担）	
	栄養費	あり	1食必要な場合1日1,000円（※要領収書） それ以外は1日2,500円（※要領収書）	
②	全国吹奏楽コンクール	中体連全国・全道大会に準ずる。（札幌市より補助あり）		
	東日本学校吹奏楽大会	③その他の大会に準じる。 （もし補助があれば①に準じる。）		
	NHK全国合唱コンクール	ブロック、全道大会については、③その他の大会に準ずる。 全国大会については、中体連全国・全道大会に準ずる。 （NHKから交通費の補助あり）		
	全日本合唱コンクール全国大会	中体連全国・全道大会に準ずる。 （中体連より補助あり）		
	全日本合唱コンクール全道大会	補助がないため、③の大会に準ずる。		
③	その他の大会	交通費	1/4	
		現地交通費	実費	補助上限は1日2,000円（※要領収書） *貸切バスを借りた場合は総額の1/4補助。 上限は交通費（1/4）と補助上限を合わせた額と同額。
		宿泊費	1/4 1/2	全道大会の補助上限は実費の1/4 全国大会の補助上限は実費の1/2
		栄養費	あり	1食必要な場合1日1,000円（※要領収書） それ以外は1日2,500円（※要領収書）

○吹奏楽部全道大会、全国大会の楽器運搬費は、半額補助。残りは、吹奏楽部の予算や個人負担で。



【引率者（一人当たり）】※中体連全道全国大会は、1～数名分が公費から支給される。要申請。

引率する全ての大会	交 通 費	公費による補助を除いた差額 公費にて補助されない場合（ガソリン代等）は全額（要領収書）	
	現地交通費	実費	補助上限は1日2,000円（要領収書）
	宿 泊 費	公費による補助を除いた差額	
	食 費	1食必要な場合1日1,000円（※要領収書） それ以外は1日2,500円（※要領収書）	
	引率経費	3,000円	1日分（公費引率者には差額を支給）

4. 未開設の部活動引率者の交通費について  
市内の大会を含めて1日1,500円を支給。

## 2025 年度（令和 7 年度）札幌市立北陽中学校部活動に係る活動方針

札幌市においては 2019 年（平成 31）3 月に「札幌市立中学校部活動に係る活動方針」（資料）1 が策定され、さらに 2020 年（令和 2 年）3 月には改正通知（資料 2）が発出されている。これらの趣旨を踏まえ、北陽中学校としての部活動の適正な運営を図り、保護者・地域の理解を促進させるため、以下の通りに令和 7 年度の活動方針を策定する。さらに、状況に応じて年度ごとに更新するものとし、「部活動の約束」についても、この方針を踏まえて見直すこととする。また、活動方針については、体育文化振興会総会における承認を経て、資料 1・資料 2 と共に、学校ホームページに掲載する。

### 1 部活動の意義

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動は、学校教育の一環として、教育課程との関連を図りながら、スポーツや文化等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養などの資質・能力に資するものとして育成を目指す。

### 2 開設する部活動（令和 7 年度）

美術部、合唱部、吹奏楽部、野球部、サッカー部、陸上競技部、  
男女バスケットボール部、男女バドミントン部、卓球部

### 3 運営のための体制整備

部活動の振興に関する活動を行う体育文化振興会が学校との連携のもとに部活動を運営する。また部活動の活動基準に則り、生徒にとって望ましい実施環境となるようにする。

### 4 指導・運営に当たっての留意点

#### 【安全への配慮】

- ・生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- ・活動における事故等の発生時の対応手順についての確認をする。
- ・発達の個人差や成長期における体と心の状態及び活動における安全の確保のため専門的知見を有する各教科担当の教師や養護教諭等と連携・協力をする。
- ・熱中症対策のため生徒にこまめに水分や塩分を補給し、休憩を取る。熱中症が疑われた場合は保護者との連携を図りながら、体温の冷却、病院への搬送等適切な対応を行う。

- ・その他、心身の健康に関する正しい見識を得ることに努め、安全への配慮を怠らない。
- 【バランスのとれた活動】
- ・部活動には様々な競技力や技術力をもった生徒が集まり、多様な技能レベルや多様なニーズがあることを理解した上で、部活動に参加するどの生徒も続けられるような活動となるようにする。
  - ・運動部においては生徒の体力の向上や、生涯を通じてスポーツに親しむ基礎を培うことができるよう、限られた時間内で効果的な指導を行う工夫をする。
  - ・文化部においては、生徒の芸術や文化の能力向上や、生涯を通じて芸術や文化に親しむ基礎を培うことができるよう、限られた時間内で効果的な指導を行う工夫をする。

## 5 部活動活動基準（札幌市立学校における部活動活動基準に基づき設定）

- ① 月に1回、学校として部活動なしの日を設定する。
- ② 基本的に平日1日と土、日のどちらか1日は休養日とする（週休2日）
- ③ 通常の平日の活動時間は2時間程度。土日、祝日、長期休業期間中は3時間程度とする。
- ④ 長期休業期間中には、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。  
（夏季休校日の3日間以上、年末年始の学校閉鎖期間以上）
- ⑤ 保護者・生徒へ、月ごとの部活動予定を事前に周知し、体育文化振興会事務局が学校ホームページに掲載する。
- ⑥ 平日の朝練習は生徒の負担を考慮して行う。  
※令和2年3月の改正通知を踏まえ、大会直前等の休養日の設定などについての特例は廃止とし必ず休養日を設定する。  
※週末に大会参加等により休養日設定が困難な場合には、他の日に休養日を振り替える。  
※「大会参加等」については、改正通知を踏まえたものと解釈する。

## 6 その他

- ① 部活動顧問は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会日程等）並びに毎月の活動計画（休養日及び活動開始時間・終了時間、活動場所等）を作成し、管理職に提出する。（データを指定場所に格納）
- ② 部活動顧問は、毎月の活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加等）を管理職に報告する。

## 札幌市立北陽中学校 部活動の約束（令和7年度）

学校生活の延長として、学校での約束を基本に、さらに下記の約束を守って意欲的な活動を行いましょう。また、部活顧問の先生や他の先生に支えられ、家庭の協力があって活動ができることを十分に理解し、感謝の気持ちをもって活動するようにしましょう。周囲から応援される部活動にしてください。

### 1. 活動時間

#### (1) 平日放課後の活動時間

5時間授業の日	清掃終了後～18:30下校完了
6時間授業の日	清掃終了後～18:30下校完了

- ①通常の活動時間は、長くとも2時間程度とする。
- ②「2時間程度とする」という方針を十分に踏まえ、過重な負担とならないようにする。  
また、特に冬季については、下校時間が遅くならないように配慮する。
- ③朝の活動を行った場合は、朝と放課後の活動時間を合わせて2時間程度とする。
- ④下校完了時間までに、片付けや帰宅準備を済ませ下校する。

#### (2) 平日朝の活動時間

平日朝	7:30～8:15
-----	-----------

- ①7:30より早い時刻に登校してはいけない。
- ②8:20までに片づけを終え、8:25までには教室で着席していること。

#### (3) 平日完全下校の日の放課後の活動時間および再登校について

毎年数件、再登校について保護者の方から、「学校から自宅までの距離が長く、帰宅すると休む間もなく学校に戻らなければならないので、体力的に重い負担となっている。」という主旨のご意見をいただくことがあります。

本校では、少しでも多く練習したいという生徒たちの気持ちにこたえ、会議などで完全下校にしなければならない日に、生徒の練習時間を確保し、大会等で力をより発揮できるようにという思いから再登校を取り入れています。

決して、生徒へ身体的及び精神的に重い負担を強いるために、再登校を行っているわけではありません。

お子様にとって再登校が重い負担となっていると考えられる場合や体調や疲労の程度などによりその日の再登校が難しいと判断される場合は、再登校をしなくてもかまいません。

本校では、部活動は自主的に参加するものと考えていますので、再登校も強制するようなことはいたしません。再登校しない場合は、土日の部活動を欠席する場合などと同様に、部活顧問に、その旨をご連絡いただければと思います。

ご理解ご協力いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

6時間授業の日	再登校なし
5時間授業の日	16:30再登校、18:30下校完了
4時間授業の日	16:30再登校、18:30下校完了
期末懇談期間 (5時間授業)	16:30再登校、18:30下校完了
3時間授業の日 (儀式的行事等)	14:00から再登校可、再登校時刻は各部で設定、18:30下校完了までのなかで、2時間程度の活動時間を確保

- ①6時間授業の日は、再登校なしの日とする。
- ②基本、4時間授業、5時間授業の日は、16:30再登校、18:30下校完了とする。
- ③期末懇談期間（基本、5時間授業の日）は、16:30再登校、18:30下校完了を基本とする。自宅が遠方の生徒で、当日、懇談があり、再登校が厳しい場合は、申し出により16:30まで別室で待機ができる。

④始業式や終業式などの儀式的行事の日（基本、3時間授業の日）は、14：00から再登校可、18：30下校完了までのなかで、2時間程度の活動時間を各部で確保する。そのため、部により再登校の時刻が異なるので、各部の指示にしたがうこと。

#### (4) 休日及び長期休業日の活動時間

①体育館割当や各部の活動計画に沿い、1日あたり3時間程度とする。

②主要な大会やコンクールの前の1か月間も、1日あたり3時間程度とする。

#### (5) 年度初めの休業日の活動時間

部活動開始は16：30とし、2時間程度の活動時間とする。

### 2. 部活の休みについて

①少なくとも月に一回は、「部活動なしの日」とし、すべての部活動の放課後活動は行わない。

②「部活動なしの日」も、朝練習を行うことができる。

③少なくとも週に1日は、平日に1日の休養日設ける。

④毎週、土曜日及び日曜日のいずれか1日を休養日とする。

⑤週末に大会参加等で休養日を設定せずに活動した場合には、過重な活動とならないように留意しながら、休養日を他の日に振り替える。

⑥長期休業期間中の休養日の設定は学期中に準じた取扱いとし、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。この「ある程度長期」については、夏季休業期間中であれば、夏季休校日の3日間以上。冬季休業中であれば、年末年始のいわゆる学校閉鎖期間以上とする。

### 3. 活動場所

①体育館、グラウンド、音楽室、美術室、格技室を基本とする。

②上記の場所が、割り当てや雨天、冬季間等の事情で使用できない場合は、部活顧問の指示に従い、安全に最大限の注意を払いながら各階廊下、ホール、教室の使用も可とする。

③体育館、グラウンド以外では、ポールは原則使用しない。部活顧問の監督下でのみ、安全に配慮のうえ使用可とする。

④活動後は、活動場所の清掃と復元を徹底すること。

⑤長期休業中は、トイレの清掃なども使用した部活動で行うこと。

### 4. 服装・更衣・持ち物

①活動時は、標準服、学校指定のジャージ、または部で認められている練習着の着用を基本とする。対外試合等もこれに準じる。

②着替えは体育館の更衣室で行い、その他の場所では行わない。ただし、学校行事等で更衣室が使用できない場合は、男子が1階コンピュータ室、女子が3階特活室を更衣場とする。

③活動に必要な道具のうち個人で所有するものは、持ち帰ることを原則とし学校には保管しない。

④持ち物には、必ず記名する。

⑤放課後の活動では、学習用具などの持ち物を活動場所まで持っていき、教室や廊下に放置しない。

⑥部に提出するお金は、登校してすぐに部活顧問に提出する。都合がつかない場合は、朝のうちに担任の先生に預かってもらうこと。

⑦スポーツドリンク等の飲料水は、休日の活動でのみ持ってきてもよい。

⑧その他、携帯電話やスマートフォン等、不要物のルールは学校生活の決まりに則り、特別な許可がない限り持ってきてはいけない。休日の活動や対外試合、合宿や遠征の際も同様である。

## 5. その他活動の留意事項

- ①部活動は課外活動であり、学級活動（当番活動や行事等の準備を含む）や生徒会活動が部活動よりも優先である。これらをおろそかにして部活動に参加することは認めない。
- ②部活動で使用しているロッカーや器具庫の持ち物の整理・整頓してキレイに使用する。

## 6. 札幌市立教育委員会からのお知らせ ～部活動活動基準の改正について～

保護者の皆様には、日頃より本市の教育にご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

札幌市立学校における部活動は、学校における教育活動の一環として、生徒が生涯にわたって、文化・スポーツに親しむ能力や態度を育み、知力・体力の向上や健康増進、生徒の自主性や協調性、社会性を伸長する等、大きな役割を果たしており、本市においても、こうしたねらい・目的を達成するため、部活動運営に取り組んでいるところです。

しかしながら、部活動において休養日の未設定や長時間の活動が恒常化する等により、生徒の安全面・健康面や、指導にあたる教職員の心身の健康維持等への影響が懸念されたことを踏まえ、平成30年4月より、札幌市立学校における部活動活動基準を設定し、休養日を定期的に設定するなどの取組を保護者の皆様のご協力のもと進めてまいりました。

そのような中、スポーツ庁及び文化庁から、部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが示されたことを受け、この度、同ガイドラインで示された活動基準に準拠した内容に改正することといたしました。保護者の皆様におかれましては、改正の趣旨につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 札幌市立学校における部活動活動基準（令和2年4月1日から適用）

- ① 少なくとも月に一回は、学校として平日にすべての部活動の休養日を設定する。
- ② 毎週、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）のいずれかを休養日とする。
- ③ 少なくとも週に1日は、平日に休養日を設定する。
- ④ 通常の活動時間は、長くとも2時間程度とする。
- ⑤ 土日、祝日、長期休業期間中の活動時間は、長くとも3時間程度とする。
- ⑥ 長期休業期間中の休養日の設定は学期間中に準じた取扱いとし、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。
- ⑦ 週末に大会参加等で休養日を設定せずに活動した場合には、休養日を他の日に振り替える。  
※過重な活動とならないよう留意すること。

なお、札幌市立学校における部活動基準に係るお問い合わせ等につきましては、札幌市教育委員会 教職員課 労務係（211-3853）までお願いいたします。

令和 6 年度

部活動費

決算報告書

札幌市立北陽中学校

【収入の部】

区分	項目	予算	決算	増減	摘要
部活動費	繰越金	0	0	0	
	振興会費	1,485,000	1,832,000	347,000	5,000円×353人+3,000円×11人 途中入部5,000円×2名分 途中入部3,000円×4名分 部費未納者分(12000円)→特別会計から
	雑収入	0	276	276	利息(83+193)
	小計	1,485,000	1,832,276	347,276	

【支出の部】

区分	項目	予算	決算	増減	摘要
部活動費	部活動支援費	885,000	1,024,423	▲139,423	端数248円→特別会計へ
	振興会費		201,500	▲201,500	500円×353人分 途中入部5000円×2名分 途中入部3000円×4名分 部費の過剰受け取り(3,000円)
	指導者補助費・保険料	600,000	606,160	▲6,160	
	小計	1,485,000	1,832,083	▲347,083	

差し引き残高	収入	1,832,276 円	- 支出	1,832,083 円	=	193 円
--------	----	-------------	------	-------------	---	-------

上記のように報告します。

札幌市立北陽中学校 体育文化振興会会計担当

坂本 憲也





令和6年度 体文振 部活動費 会計検査結果を次のとおり報告します。

1. 検査実施日 令和7年 3月7日
2. 会計検査対象 令和6年度 体文振部活動費  
(令和6年4月1日～令和7年2月28日)
3. 検査対象書類 2に係わる金銭出納簿、預金通帳、その他収入・支出関係書類
4. 検査結果

検査の結果、相違ないことを認めます。

令和7年 3月7日

教頭 遠藤 肇 

校長 東海杯 裕子 





令和6年度 体文振部活動費 会計監査結果を次のとおり報告します。

1. 監査実施日 令和7年 3月 7日
  
2. 会計監査対象 令和6年度 体文振 一般会計  
(令和6年4月1日～令和7年2月28日)
  
3. 監査対象書類 2に係わる金銭出納簿、預金通帳、その他収入・支出関係書類
  
4. 監査結果

監査の結果、相違ないことを認めます。

令和7年 3月 7日

監査委員 岩谷 真智子 

監査委員 澤 友里絵 

(様式)決算書

令和7年3月7日

令和 6 年度

本文特別会計決算報告書

札幌市立北陽中学校

【収入の部】

単位:円

区分	項目	6年度予算	6年度決算	増減	摘要
本文特別会計	繰越金	3,454,883	3,454,883	0	
	振興会入会金より	165,000	198,500	33,500	500円×353人 途中入部2人(5000円×2) 途中入部4人(3000円×4)
	PTA 体文奨励費	1,300,000	1,300,000	0	吹奏楽費含む
	雑収入	-	1,575,382	1,575,382	中体連事務局より・利息など
	小計	4,919,883	6,528,765	1,608,882	

【支出の部】

区分	項目	6年度予算	6年度決算	増減	摘要
本文特別会計	全道大会	450,000	2,606,988	▲2,156,988	卓球・合唱・陸上
	全国大会	-	105,244	▲105,244	柔道
	大会参加費	385,000	253,160	131,840	
	部活動維持費	650,000	802,329	▲152,329	
	次年度繰越金	3,434,883	-	3,434,883	
	新人戦		1,130	▲1,130	柔道
	その他		23,000	▲23,000	ペナント・部費未納者分
	小計	4,919,883	3,791,851	1,128,032	

差し引き残高 収入 6,528,765円 - 支出3,791,851円 = 2,736,914 円

上記のように報告します。

札幌市立北陽中学校体育文化振興会会計担当


坂本 憲也 印


令和6年度 体文振 特別会計 会計検査結果を次のとおり報告します。

1. 検査実施日 令和7年 3月7日
  
2. 会計検査対象 令和6年度 体文振 特別会計  
(令和6年4月1日～令和7年2月28日)
  
3. 検査対象書類 2に係わる金銭出納簿、預金通帳、その他収入・支出関係書類
  
4. 検査結果

検査の結果、相違ないことを認めます。

令和7年 3月7日

教頭 遠藤 肇 

校長 東海林 裕子 

令和6年度 体文振 特別会計 会計監査結果を次のとおり報告します。

1. 監査実施日 令和7年 3月 7日
  
2. 会計監査対象 令和6年度 体文振 特別会計  
(令和6年4月1日～令和7年2月28日)
  
3. 監査対象書類 2に係わる金銭出納簿、預金通帳、その他収入・支出関係書類
  
4. 監査結果

監査の結果、相違ないことを認めます。

令和7年 3月 7日

監査委員

岩谷 真智子



監査委員

澤 友里絵



(様式)予算書

令和6年4月1日

令和 7 年度 部活動費 予算書(案)

札幌市立北陽中学校

【収入の部】

単位:円

区分	項 目	6年度予算	6年度決算	7年度予算	予算増減	摘 要
部活動費	振 興 会 費	1,485,000	1,832,000	1,765,000	280,000	5,000円×353人
	雑 収 入	-	276	193	193	利息
	小 計	1,485,000	1,832,276	1,765,193	280,193	

【支出の部】

区分	項 目	6年度予算	6年度決算	7年度予算	予算増減	摘 要
部活動費	部 活 動 支 援 費	885,000	1,024,423	812,193	-72,807	
	指 導 者 補 助 費・保 険 費	600,000	606,160	600,000	0	
	体 文 特 別 会 計	165,000	201,500	353,000	188,000	体文特別会計へ入金分
	小 計	1,650,000	1,832,083	1,765,193	115,193	

(様式)決算書

令和7年4月1日

令和 7 年度

体文特別会計 予算書(案)

札幌市立北陽中学校

【収入の部】

単位:円

区分	項目	6年度予算	7年度予算	増減	摘要
体文特別会計	繰越金	3,454,883	2,736,914	-717,969	
	振興会入会金より	165,000	353,000	188,000	1000円×353人 (昨年の入部人数)
	PTA体文奨励費	1,300,000	1,300,000	0	吹奏楽費含む
	雑収入	-	-		
	小計	4,919,883	4,389,914	-529,969	

【支出の部】

区分	項目	6年度予算	7年度予算	増減	摘要
体文特別会計	全道大会	450,000	458,000	8,000	
	全国大会	-	110,000	110,000	
	大会参加費	385,000	385,000	0	
	部活動維持費	650,000	700,000	50,000	
	次年度繰越金	3,434,883	2,736,914	-697,969	
	新人戦			0	
	その他			0	
				0	
小計		4,919,883	4,389,914	-529,969	

差し引き残高

収入 4,389,914 - 支出 4,389,914 = 0 円

上記のように報告します。

札幌市立北陽中学校体育文化振興会会計担当

川端 千晴 (川端)